

「森と水と命の惑星」国際会議

～地域と世界の心と魂を詠む～

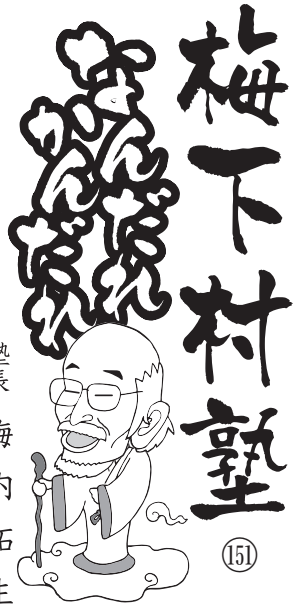
(限界と可能性)
現代科学の進歩は宇宙衛星を打ちあげて、電波望遠鏡を駆使して宇宙の果てを見極めようとしております。ここで注目すべきことは西欧文明の理の世界と東洋文明の情の世界と響き合いがあつてこそ宇宙を感じ捉える可能性があることです。

一つの考えは21世紀中に人口は100億に達し、これを支えるための生態学的能力をはるかに超える状態に遭遇しており、人類文明の存続があぶないという事です。この危険性を吹き飛ばすために、既得権を享受し、

経済力、政治力を独占しているグループは、いろいろなキャンペーンを行つております。

3・11の東日本大震災を経験した気仙地方こそ、人類の共存のためのメッセージを世界に発信しなければならぬと思ひます。これを目指して、梅下村塾を世界に発信するため新たに日本語と英語によるFace book(フェイスブック)を立ち上げました。

(たたみ込みと読みとり)
遺伝子は細胞の核内にたたみ込まれており、それが読みとられ



塾長 梅内 拓生

て生命を維持している。これに関する研究で利根川進博士が免疫学部門で、山中伸弥博士がiPS細胞でノーベル医学賞を受賞している。

3月21日の第5面の「おおふなと昔がたり第19号 徳(しのぶ)『追憶』 三陸町吉浜千葉元子」には昔の記憶がたたりがたたみ込まれている。

(雪下ろし)
雪下ろしの重労働に汗流す老人たくましくテレビに映る
武蔵栄治
屋根の雪下ろしや庭や道路の雪かきには隣近所が力を合わせて行った昔がよみがえってきます。

「詠めばつながらる世界と地球(1)」
ヒデ 21世紀は仏教の末法思想やキリスト教の終末思想とつながらる世紀になるのかな！
タカ 宗教と科学そして芸術の領域を視野に入れて考える世紀です！

田踏みや田植えは家族や隣近所が繰出で手伝った、子ども達は大人たちと一緒に、田踏みや田植えで、家族、村、町を支える共同・協力作業の大切なことを学んでいた。

おおふなと昔がたり追憶への返歌

(五升釜)
三世代共に暮らせし証なる五升炊き釜は納屋に錆つく
新沼久仁子
3世代が一緒に住んでいた時代には土間の大釜でご飯を炊いたものでした。核家族の今、大釜は納屋で錆ついておりませんが、そこには昔の記憶がたたみ込まれております。

ヒデ 宮沢賢治の全体と個人の幸福をつなげる思想は世界と地球と歴史をつなげるものだなあ！
タカ 森羅万象を詠めばつながらるといふことなのかなあ！
ケイ 世界と宇宙の心と魂をつなげることでですね！

(田踏み)
田踏してお屋田楽しやお田の神
ぬほり大船渡支社歌
会詠草 3月21日 東海文芸

返句
炊き出しや昔の記憶五升釜
気仙地方には長い歴史の知恵がたたみ込ま

ね！